

商業環境の考え方について

1 商業環境形成指針の概要（令和7年度第2回審議会資料 参照）

地域と共生する良好な商業環境の形成を推進するもの

- ◆ エリア・ゾーンごとの商業集積を導くための方向性の設定
- ◆ 市民意見を含めた総合的な商業施設の設置・判断
- ◆ H18「まちづくり三法改正」に伴い、H20に指針を改定

※本市では、総合的なまちづくりの視点から、「大型店の出店は、当面、既存市街地を中心とした出店可能な地域に限定することが望ましい」とする基本方針に基づき、市街化調整区域への出店を規制【平成18年2月7日発表】

図1 各商業エリアが担う役割・機能のイメージ

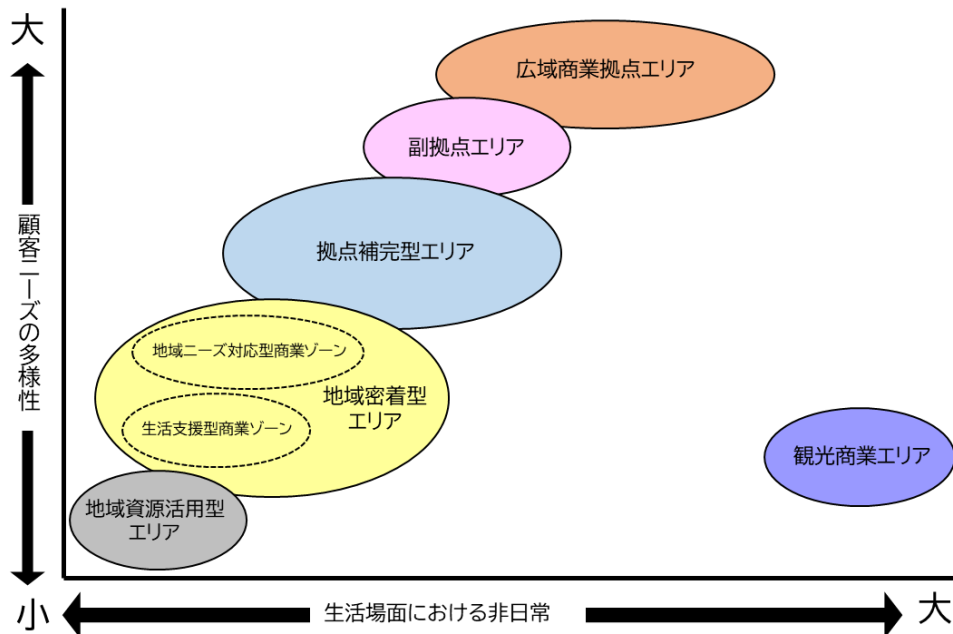


図2 商業エリア・ゾーンと該当地区

エリア及びゾーン名	該当地区	主な役割・機能
広域商業拠点エリア		
善光寺周辺観光商業ゾーン	第一、第二	善光寺を軸とした歴史的・文化的資源の活用により回遊性を高め、個性のかつ魅力的な専門店づくりによって、観光、コンベンション等来訪者のニーズに応える。
賑わいアミューズメントゾーン	第三、第四	中心市街地への買物客や観光・コンベンション等来訪者に対して、飲食、娯楽、レジャー面でサービスの充実を図り、付加価値の高い生活・買物体験を提供する。
長野駅周辺広域商業ゾーン	第四、第五、芹田	広域からの集客を念頭に置き、高級・娯楽志向の強い専門店の購買ニーズに幅広く答え、品の良い街の雰囲気演出する。
副拠点エリア	篠ノ井	地域住民の日常的購買ニーズに対応するとともに、長野市南部の拠点として広域からの集客を念頭に置いたまちづくりを進める。
拠点補完型エリア	川中島、更北、古牧、若槻	日用品を中心とした地域住民の日常的購買ニーズにきめ細かく対応するとともに、近隣地区・市町村居住者の買回品（家電製品など）購買ニーズへも幅広く対応する。
地域密着型エリア		
地域ニーズ対応型ゾーン	芹田、吉田、朝陽、豊野	日用品を中心とした地域住民の日常的購買ニーズにきめ細かく対応し、買回品・専門店の購買ニーズは広域商業拠点エリアや拠点補完型エリアの補完的機能を果たす。
生活支援型ゾーン	柳原、古里、三輪、大豆島、安茂里、若穂	地域住民の日常的購買ニーズに対応し、高齢者など交通弱者にとって快適な買物空間を作る。
観光商業エリア	松代	地域の歴史的・文化的な資源を有機的に結び付け、観光やコンベンション等来訪者ニーズの対応を図る。また、地区内のみならず広域商業拠点エリアとの回遊性を高め、滞在時間の延長を目指す。
地域資源活用型エリア	長沼、浅川、芋井、小田切、七二会、信更、大岡、戸隠、鬼無里	地域のより身近な購買ニーズへの対応を図り、地域の自然環境、歴史的・文化的資源や特産品を活用していく。

2 長野市の商業データ

◆時系列データ（小売業）

項目	H19	H24	H26	H28	R3
事業所数	3,524	2,558	2,538	2,661	2,405
年間商品販売額（万円）	44,843,726	37,195,282	42,900,393	46,592,972	42,791,337
売場面積（㎡）	536,024	480,041	447,838	457,996	437,637
行政人口（人）	382,821	386,882	384,641	382,249	371,997
小売吸引力係数（商業人口／行政人口）	1.08	1.12	1.09	1.15	1.09
商業人口（販売額／県民一人の販売額）（人）	412,279	432,213	420,878	438,272	406,976

◆業種別データ（令和3年）

項目	事業所数		年間商品販売額（万円）	
	数	構成比	販売額	構成比
小売業 計	2,405	69.7%	42,791,337	26.9%
各種商品小売業	6	0.2%	2,391,840	1.5%
織物・衣服・身の回り品小売業	284	8.2%	1,935,971	1.2%
飲食品小売業	640	18.5%	10,402,438	6.5%
機械器具小売業	404	11.7%	9,654,815	6.1%
その他の小売業	938	27.2%	14,667,682	9.2%
無店舗小売業	133	3.9%	3,738,591	2.4%
卸売業 計	1,047	30.3%	116,119,770	73.1%
各種商品卸売業	8	0.2%	4,147,891	2.6%
繊維・衣服等卸売業	24	0.7%	1,020,721	0.6%
飲食品卸売業	232	6.7%	55,853,807	35.1%
建築材料、鉱物	229	6.6%	19,200,581	12.1%
金属材料等卸売業	311	9.0%	21,910,269	13.8%
機械器具卸売業	243	7.0%	13,986,501	8.8%
合計	3,452	100.0%	158,911,107	100.0%

〈資料〉
・長野市統計書
・商業統計調査
・経済センサス「活動調査」
・長野市 HP「長野市町別人口及び世帯数」
・毎月人口異動調査

- （注1）H19, 26：商業統計調査、H24, 28, R3：経済センサス「活動調査」
（注2）「年間商品販売額」の基準時点について：H24, H26, H28, R3年に示した値の実際の基準時点は、それぞれH23, H25, H27, R2年
（注3）人口は、長野市HP「長野市町別人口及び世帯数」。ただし、合併前の地区及び長野県人口は、「毎月人口異動調査」を用いています。
（注4）小売吸引力係数、商業人口について、算出に用いる原数値に秘匿を含む場合は「X」と表示しています。
（注5）「X」は、秘匿です（内訳に秘匿を含むため、表示できない場合も含まれます。）。
（注6）「全地区平均」は、10地区の単純平均。なお、秘匿を含む地区を除いて算出しています。

◆購入品目別の購入地域データ

購入地域	飲食品・日用品 〈最寄品〉	衣料品・家電・家具 〈買回品〉	その他（靴、貴金属、 贈答品等）
第一・第二・第三・第四・第五	32.0%	44.5%	50.4%
芹田・安茂里	17.3%	14.9%	4.5%
三輪・吉田・古牧	30.2%	33.0%	11.2%
豊野・長沼	5.6%	2.4%	1.3%
若槻・浅川	17.2%	16.4%	8.5%
古里・柳原	5.6%	1.8%	0.9%
朝陽・大豆島	8.9%	5.9%	2.2%
更北・川中島	24.1%	32.0%	17.2%
篠ノ井	15.8%	15.4%	6.9%
松代・若穂	6.0%	1.2%	1.7%
小田切・芋井・七二会・信更・戸隠・鬼無里・大岡・信州新町・中条	9.3%	2.3%	2.3%
千曲市・坂城町	4.4%	3.5%	2.1%
須坂市	6.2%	9.4%	5.0%
中野市・飯山市・山ノ内町	2.2%	1.9%	0.6%
インターネットで購入	12.9%	36.0%	25.9%
その他	8.9%	10.5%	6.5%

- 〈資料〉「長野市民買物行動アンケート」（令和7年12月・商工労働課）
（注）購入地域は最大2つまで選択可。「飲食品・日用品」は「飲食品」又は「日用品」、「衣料品・家電・家具」は「衣料品」又は「家具・家電」のいずれかの購入地域をそれぞれ集計したもの

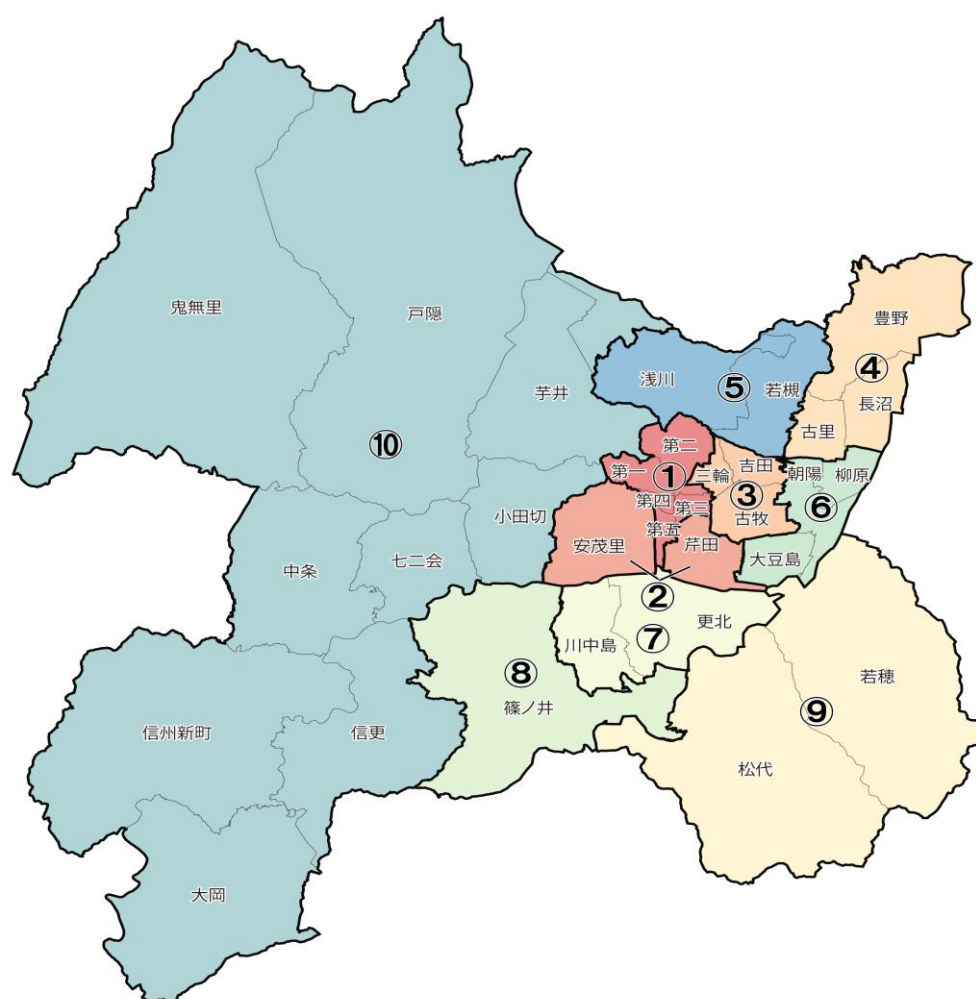
3 今回の計画における商業環境の形成の整理について

商業環境形成指針を今回の計画に統合するに当たり、今回の計画における商業環境の形成については、市が都市計画マスタープランによるまちづくりを進めていること等を考慮し、現在改定中の長野市都市計画マスタープランでの地域区分の考え方を参考に、次のとおり地域を区分し、地域（小地域）ごとの商業立地の現況、商業振興の方向性等について整理します。

- ・行政区分（32 地区）を基本の単位とし、歴史的な地域の形成過程や経緯を考慮
- ・都市構造（拠点や軸など）や土地利用（区域区分）を考慮
- ・地形を考慮

※次回の審議会で、全市における地域（大地域：複数の地域（小地域）をまとめたもの）単位での役割・機能等について整理します。

◆地域区分図



◆地域区分表

地域区分	内訳（地区名）	地域区分	内訳（地区名）
①長野駅・善光寺 周辺地域	第一 第二 第三 第四 第五	⑦川中島・更北地域	更北 川中島
②芹田・安茂里地域	芹田 安茂里	⑧篠ノ井地域	篠ノ井
③東部地域	三輪 吉田 古牧	⑨松代・若穂地域	松代 若穂
④北部地域	豊野 長沼 古里	⑩北西部中山間地域	小田切 芋井 七二 会 信更 戸隠 鬼 無里 大岡 信州新 町 中条
⑤若槻・浅川地域	若槻 浅川		
⑥千曲川沿川地域	柳原 朝陽 大豆島		

4 地域別の商業立地の主な現況等及び商業振興の方向性について

①長野駅・善光寺周辺地域（第一・第二・第三・第四・第五地区）

◆位置等

長野市の中心市街地に位置し、市全体の都市機能と歴史文化を象徴する地域です。

◆商業環境形成指針の地域商業のビジョン（H20改定時）

地区	地域商業のビジョン
第一 第二	◎観光客のニーズに対応した商業集積の促進 小規模の専門店による商業集積、歴史的景観・街並みに配慮した商業環境の形成 ◎再開発や居住型まちづくりを視野に入れた商業の集約化の推進
第三 第四	◎飲食、娯楽・レジャー、文化面等の多様なニーズに応え得る、様々な業種・業態の商業集積の促進 ◎ゾーン内の集積の密度を高める、業種に応じた集中的な集積と歩行空間の整備の促進（「飲食」「買物」「アミューズメント」の複合的な集積）
第三 第四 第五	◎商業の中核を担う地域として、非日常的かつ多様な購買ニーズに応え得る、専門性の高い店舗の集積の促進 ◎市の玄関口として風格ある街並みづくりと緑・アメニティ空間の充実 ◎質の高い大型店の立地による地域の魅力向上

◆地域の商業データ（小売業）

項目	H19	H24	H26	H28	R3
事業所数	1,041	683	672	675	606
↳（全地域平均）	(356)	(256)	(254)	(266)	(241)
年間商品販売額（万円）	9,721,505	7,051,441	8,086,003	8,186,077	6,041,711
↳（全地域平均）	(4,936,280)	(3,719,528)	(4,938,327)	(5,116,600)	(4,943,946)
行政人口（人）	33,385	32,131	31,737	31,522	31,080
↳（全地域平均）	(39,048)	(38,688)	(38,464)	(38,225)	(37,200)
小売吸引力係数（商業人口／行政人口）	2.68	2.55	2.50	2.44	1.85
↳（全地域平均）	(1.08)	(1.04)	(1.13)	(1.14)	(1.09)
商業人口（販売額／県民一人の販売額）（人）	89,376	81,938	79,328	77,001	57,461
↳（全地域平均）	(45,383)	(43,221)	(48,448)	(48,129)	(47,020)

事業所の内訳（R3）	事業所数	構成比	市全体シェア
各種商品小売業	3	0.5%	50.0%
織物・衣服・身の回り品小売業	139	22.9%	48.9%
飲食料品小売業	179	29.6%	28.0%
機械器具小売業	41	6.8%	10.1%
その他の小売業	225	37.1%	24.0%
無店舗小売業	19	3.1%	14.3%
計	606	100.0%	25.2%

購入品目	飲食料品・日用品（最寄品）	衣料品・家電・家具（買回品）
地域住民の主な購入地域（参考）	①第一～第五（84.4%） ②古牧・三輪・吉田（40.8%）	①第一～第五（79.6%） ②ネットで購入（50.3%）

◆今回の計画での整理

商業立地の主な現況等（H20改定時から修正）	商業振興の方向性（案）
・「善光寺」周辺では、参道を中心に土産品店、飲食店等が見られ、門前を中心に空き家や空き店舗等をリノベーションして活用した個店等が見られます。 ・「中央通り」沿いや「権堂アーケード」等には、生鮮食料品店のほか、小売店、飲食店等を中心とした商店街に加え、映画館等のアミューズメント施設や「北野文芸座」等の文化的な施設が見られます。 ・「JR長野駅」周辺では、「ながの東急百貨店」「MIDORI長野」、等の大型店舗に加え、専門店、飲食店等の集積が見られます。 ・観光客、インバウンドも多く訪れる地域であることから、地域資源を活用した店舗、国際的なニーズに対応した店舗等の充実が課題です。	◎観光客のニーズに対応した商業集積の促進 ◎飲食、レジャー、文化面等の多様なニーズに応え得る業種・業態の商業集積の促進 ◎商業の中核を担う地域として、非日常的・多様な購買ニーズに応え得る専門性の高い店舗の集積の促進 ◎地域に密着した商店街の生活機能強化の促進

② 芹田・安茂里地域（芹田・安茂里地区）

◆位置等

長野市の中心市街地の南西側に位置し、犀川沿いの平坦地と西山山系の山麓部にまたがる地域です。

◆商業環境形成指針の地域商業のビジョン（H20改定時）

地区	地域商業のビジョン
芹田	◎公園・コンベンション施設等を活かした憩える買物空間の構築 ◎高齢者等の交通弱者に優しい商業環境形成の促進
安茂里	◎安全で快適な買物空間の整備の促進 ◎最寄品の充実と生活利便性の向上の促進

◆地域の商業データ（小売業）

項目	H19	H24	H26	H28	R3
事業所数	357	242	218	233	234
↳（全地域平均）	(356)	(256)	(254)	(266)	(241)
年間商品販売額（万円）	5,695,975	4,531,136	5,262,723	6,831,590	5,345,627
↳（全地域平均）	(4,936,280)	(3,719,528)	(4,938,327)	(5,116,600)	(4,943,946)
行政人口（人）	49,810	48,946	48,787	48,632	47,545
↳（全地域平均）	(39,048)	(38,688)	(38,464)	(38,225)	(37,200)
小売吸引力係数（商業人口／行政人口）	1.05	1.08	1.06	1.32	1.07
↳（全地域平均）	(1.08)	(1.04)	(1.13)	(1.14)	(1.09)
商業人口（販売額／県民一人の販売額）（人）	52,367	52,652	51,630	64,261	50,841
↳（全地域平均）	(45,383)	(43,221)	(48,448)	(48,129)	(47,020)

事業所の内訳（R3）	事業所数	構成比	市全体シェア
各種商品小売業	0	0.0%	0.0%
織物・衣服・身の回り品小売業	15	6.4%	5.3%
飲食料品小売業	71	30.3%	11.1%
機械器具小売業	43	18.4%	10.6%
その他の小売業	83	35.5%	8.8%
無店舗小売業	22	9.4%	16.5%
計	234	100.0%	9.7%

購入品目	飲食料品・日用品（最寄品）	衣料品・家電・家具（買回品）
地域住民の主な購入地域（参考）	① 芹田・安茂里（91.5%） ② 川中島・更北（46.8%）	① 芹田・安茂里（66.0%） ② 第一～第五（53.2%）

◆今回の計画での整理

商業立地の主な現況等（H20改定時から修正）	商業振興の方向性（案）
・「JR長野駅」東口周辺には、オフィスをはじめ、飲食店、ホテル等が多く見られるほか、「長野須坂インター線」沿いに古牧地区に至るまで生鮮食料品店のほか、飲食店等が見られます。 ・地域内には、「ビッグハット」「長野県民文化会館」等の大型のコンベンション施設が見られます。 ・母袋交差点から長野赤十字病院前に至る「県道三才・大豆島・中御所線」沿いには、飲食店、商店等が見られます。 ・「ケースタウン若里」等の大型店舗が地域内に点在しています。 ・「長野アークス」周辺を中心に「県道三才・大豆島・中御所線」に至る地域では、卸売りをはじめとする工業系に利用されています。 ・「JR安茂里駅」を中心に「国道19号」沿いに、生鮮食料品店、ドラッグストア、ホームセンター等の集積が見られ、「長野県長野工業高等学校」周辺には、生鮮食料品店、ドラッグストア、ホームセンター等の立地が見られるほかは、個人の商店が点在しています。 ・川合新田区から犀川周辺や、安茂里地区の山間部等は、農用地として農業に広く利用されています。	◎幹線道路等における既存の店舗を中心とした交通渋滞・騒音等に配慮した集積の促進（大規模小売店舗立地法等） ◎地域の個店を中心とした商業機能強化の促進 ◎地域住民の生活を支える商業機能の維持・確保

③東部地域（三輪・吉田・古牧地区）

◆位置等

長野市の東部に位置し、市の中心市街地に近接した住宅地、商業地、教育施設が集積する市街地が形成されています。

◆商業環境形成指針の地域商業のビジョン（H20改定時）

地区	地域商業のビジョン
三輪	◎地域の個店を中心とした商業機能の強化 ◎歩道整備ほか安全で快適な買物空間の構築
吉田	◎地域密着型の既存商店の活力の維持と遊歩道等買物空間の整備の促進 ◎商業集積の新陳代謝を促進するため既存店舗の業態転換等への積極的な支援の展開
古牧	◎「東豊線」から「長野須坂インター線」にかけての新規の商業集積の促進 ◎「長野運動公園」周辺を中心とした植栽等の景観に配慮した商業集積の促進 ◎その他の幹線道路における既存の店舗を中心とした交通渋滞・騒音等に配慮した集積の促進

◆地域の商業データ（小売業）

項目	H19	H24	H26	H28	R3
事業所数	482	337	347	376	344
└（全地域平均）	(356)	(256)	(254)	(266)	(241)
年間商品販売額（万円）	8,100,021	6,600,696	7,351,552	9,392,721	8,719,578
└（全地域平均）	(4,936,280)	(3,719,528)	(4,938,327)	(5,116,600)	(4,943,946)
行政人口（人）	60,695	60,822	60,658	60,551	59,727
└（全地域平均）	(39,048)	(38,688)	(38,464)	(38,225)	(37,200)
小売吸引力係数（商業人口／行政人口）	1.23	1.26	1.19	1.46	1.39
└（全地域平均）	(1.08)	(1.04)	(1.13)	(1.14)	(1.09)
商業人口（販売額／県民一人の販売額）（人）	74,469	76,701	72,123	88,352	82,929
└（全地域平均）	(45,383)	(43,221)	(48,448)	(48,129)	(47,020)

事業所の内訳（R3）	事業所数	構成比	市全体シェア
各種商品小売業	1	0.3%	16.7%
織物・衣服・身の回り品小売業	43	12.5%	15.1%
飲食料品小売業	70	20.4%	10.9%
機械器具小売業	73	21.2%	18.1%
その他の小売業	129	37.5%	13.8%
無店舗小売業	28	8.1%	21.1%
計	344	100.0%	14.3%

購入品目	飲食料品・日用品（最寄品）	衣料品・家電・家具（買回品）
地域住民の主な購入地域（参考）	①三輪・吉田・古牧（91.3%） ②第一～第五（27.5%）	①三輪・吉田・古牧（70.0%） ②第一～第五（53.2%）

◆今回の計画での整理

商業立地の主な現況等（H20改定時から修正）	商業振興の方向性（案）
・「長野大通り」善光寺下駅信号交差点と「北長野通り」三輪1・2丁目交差点との間の道路沿いや「SBC通り」三輪交番前交差点と「国道406号」柳町交番前交差点との間の道路沿いを中心に、生鮮食料品店やドラッグストアのほか、小規模の商店を中心とした商店街が形成されており、「相の木通り」沿いにも商店が見られます。 ・「SBC通り」から「JR北長野駅」周辺にかけて、「イオンタウン長野三輪」等の大型店舗のほか、自動車販売店、飲食店等が見られ、「JR北長野駅」周辺には小規模の商店等が見られます。 ・「国道406号（平林街道）」沿いには、生鮮食料品店、家電量販店、自動車販売店、飲食店等が見られます。 ・「長野須坂インター線」沿いには、「MEGAドン・キホーテ長野店」等の大型店舗のほか、小売店、飲食店等が見られ、「東豊線」沿いには、生鮮食料品店や飲食店等の集積が見られます。 ・「国道18号」沿いには、家具販売店、自動車販売店、飲食店等が見られます。	◎幹線道路等における既存の店舗を中心とした交通渋滞・騒音等に配慮した集積の促進（大規模小売店舗立地法等） ◎地域に密着した商店街の生活機能強化の促進 ◎地域の個店を中心とした商業機能強化の促進

④北部地域（豊野・長沼・古里地区）

◆位置等

長野市の北部に位置し、東側は千曲川沿いに沖積平野が広がり、西側は飯綱山麓へと続く丘陵地となる多様な地形を有しています。

◆商業環境形成指針の地域商業のビジョン（H20改定時）

地区	地域商業のビジョン
豊野	◎地域の個店を中心とした商業機能の強化 ◎住宅整備と一体となった商業環境（生活環境）の強化 ◎農業と観光が一体となった新しいサービス型の商業地の形成の促進
長沼	◎農業と一体となったレクリエーションを兼ね備えた新しいサービス型の商業地の形成の促進
古里	◎地域の個店を中心とした商業機能の強化 ◎福祉環境に配慮した買物空間の整備

◆地域の商業データ（小売業）

項目	H19	H24	H26	H28	R3
事業所数	150	126	120	115	96
└（全地域平均）	(356)	(256)	(254)	(266)	(241)
年間商品販売額（万円）	1,206,151	1,259,489	1,882,895	1,817,606	1,479,209
└（全地域平均）	(4,936,280)	(3,719,528)	(4,938,327)	(5,116,600)	(4,943,946)
行政人口（人）	26,759	26,577	26,436	26,029	24,681
└（全地域平均）	(39,048)	(38,688)	(38,464)	(38,225)	(37,200)
小売吸引力係数（商業人口／行政人口）	0.41	0.55	0.70	0.66	0.57
└（全地域平均）	(1.08)	(1.04)	(1.13)	(1.14)	(1.09)
商業人口（販売額／県民一人の販売額）（人）	11,089	14,635	18,472	17,097	14,068
└（全地域平均）	(45,383)	(43,221)	(48,448)	(48,129)	(47,020)

事業所の内訳（R3）	事業所数	構成比	市全体シェア
各種商品小売業	0	0.0%	0.0%
織物・衣服・身の回り品小売業	5	5.2%	1.8%
飲食料品小売業	35	36.5%	5.5%
機械器具小売業	19	19.8%	4.7%
その他の小売業	32	33.3%	3.4%
無店舗小売業	5	5.2%	3.8%
計	96	100.0%	4.0%

購入品目	飲食料品・日用品（最寄品）	衣料品・家電・家具（買回品）
地域住民の主な購入地域（参考）	①豊野・長沼（55.0%） ②若槻・浅川（41.3%）	①三輪・吉田・古牧（56.3%） ②若槻・浅川（42.5%）

◆今回の計画での整理

商業立地の主な現況等（H20改定時から修正）	商業振興の方向性（案）
・「JR豊野駅」を中心に、地元密着型の小規模の商店を中心とした商店街のほか、生鮮食料品店、ドラッグストア等が集積し、一体の駐車場を備えた商業集積地が見られます。 ・「国道18号（アップルライン）」沿いを中心に、コンビニエンスストア、飲食店、自動車用品販売店等の店舗やりんご等の直売所が見られるほか、生鮮食料品店、ホームセンター、家具販売店等が集積し、一体の駐車場を備えた「アップルラインガーデン」が見られます。 ・「JR三才駅」を中心に、個人商店を中心とした店舗が見られます。 ・地域内には農用地が多く、りんご栽培など農業に広く利用されています。 ・地域の人口は減少傾向にあり、高齢化も進行していることから、日常生活を支える商業機能の維持・確保が課題です。	◎幹線道路等における既存の店舗を中心とした交通渋滞・騒音等に配慮した集積の促進（大規模小売店舗立地法等） ◎地域の個店を中心とした商業機能強化の促進 ◎地域資源を活かした商業環境の形成の促進 ◎地域住民の生活を支える商業機能の維持・確保

⑤若槻・浅川地域（若槻・浅川地区）

◆位置等

長野市の北部に位置し、市街地に近接しながら豊かな自然環境を有する地域です。

◆商業環境形成指針の地域商業のビジョン（H20改定時）

地区	地域商業のビジョン
若槻	◎郊外型商業集積としての現在の商業集積の方向性を推進 ◎「北部幹線」・「若槻大通り」・「東豊線」を中心とした景観に配慮した潤いのあるまちづくりの促進
浅川	◎地域に密着した商店街の生活機能強化の促進 ◎積極的な自然環境保全の促進

◆地域の商業データ（小売業）

項目	H19	H24	H26	H28	R3
事業所数	173	118	128	139	124
└（全地域平均）	(356)	(256)	(254)	(266)	(241)
年間商品販売額（万円）	2,807,300	2,511,163	X	2,609,574	X
└（全地域平均）	(4,936,280)	(3,719,528)	(4,938,327)	(5,116,600)	(4,943,946)
行政人口（人）	28,060	27,387	27,211	27,081	26,712
└（全地域平均）	(39,048)	(38,688)	(38,464)	(38,225)	(37,200)
小売吸引力係数（商業人口／行政人口）	0.92	1.07	X	0.91	X
└（全地域平均）	(1.08)	(1.04)	(1.13)	(1.14)	(1.09)
商業人口（販売額／県民一人の販売額）（人）	25,809	29,180	X	24,547	X
└（全地域平均）	(45,383)	(43,221)	(48,448)	(48,129)	(47,020)

R3 事業所の内訳	事業所数	構成比	市全体シェア
各種商品小売業	0	0.0%	0.0%
織物・衣服・身の回り品小売業	12	9.7%	4.2%
飲食料品小売業	27	21.8%	4.2%
機械器具小売業	26	21.0%	6.4%
その他の小売業	52	41.9%	5.5%
無店舗小売業	7	5.6%	5.3%
計	124	100.0%	5.2%

購入品目	飲食料品・日用品（最寄品）	衣料品・家電・家具（買回品）
地域住民の主な購入地域（参考）	①若槻・浅川（96.4%） ②三輪・吉田・古牧（41.8%）	①若槻・浅川（72.7%） ②三輪・吉田・古牧（67.3%）

◆今回の計画での整理

商業立地の主な現況等（H20改定時から修正）	商業振興の方向性（案）
・「北部幹線」沿いに、生鮮食料品店、ホームセンター、飲食店、小売店等や、衣料品販売店、靴店等が集積し、一体の駐車場を備えた商業集積地が見られます。幹線道路沿い以外に目立った商業集積地はありません。 ・「東豊線」沿いでは、飲食店、小売店等が見られます。 ・浅川地区は、一部の地域に個店等が点在して見られる程度であり、商業の集積はほとんど見られません。 ・浅川地区や若槻地区の山間部等は、農用地として農業に広く利用されています。 ・地域の人口は減少傾向にあり、高齢化も進行していることから、日常生活を支える商業機能の維持・確保が課題です。	◎幹線道路等における既存の店舗を中心とした交通渋滞・騒音等に配慮した集積の促進（大規模小売店舗立地法等） ◎地域の個店を中心とした商業機能強化の促進 ◎地域住民の生活を支える商業機能の維持・確保

⑥千曲川沿岸地域（柳原・朝陽・大豆島地区）

◆位置等

長野市の北東部に位置し、千曲川左岸に沿って広がる平坦な地域です。

◆商業環境形成指針の地域商業のビジョン（H20改定時）

地区	地域商業のビジョン
柳原	◎地域の個店を中心とした商業機能の強化 ◎福祉環境に配慮した買物空間の整備
朝陽	◎地域密着型の既存商店の活力の維持と遊歩道等買物空間の整備の促進 ◎商業集積の新陳代謝を促進するため既存店舗の業態転換等への積極的な支援の展開
大豆島	◎緑地を維持した憩える買物空間の整備 ◎食料品等の最寄品の充実

◆地域の商業データ（小売業）

項目	H19	H24	H26	H28	R3
事業所数	218	158	188	208	181
↳（全地域平均）	(356)	(256)	(254)	(266)	(241)
年間商品販売額（万円）	2,775,093	2,278,704	2,776,285	3,109,905	3,690,139
↳（全地域平均）	(4,936,280)	(3,719,528)	(4,938,327)	(5,116,600)	(4,943,946)
行政人口（人）	34,774	34,985	34,824	34,781	34,551
↳（全地域平均）	(39,048)	(38,688)	(38,464)	(38,225)	(37,200)
小売吸引力係数（商業人口／行政人口）	0.73	0.76	0.78	0.84	1.02
↳（全地域平均）	(1.08)	(1.04)	(1.13)	(1.14)	(1.09)
商業人口（販売額／県民一人の販売額）（人）	25,513	26,479	27,237	29,253	35,096
↳（全地域平均）	(45,383)	(43,221)	(48,448)	(48,129)	(47,020)

R3 事業所の内訳	事業所数	構成比	市全体シェア	購入品目	飲食料品・日用品（最寄品）	衣料品・家電・家具（買回品）
各種商品小売業	0	0.0%	0.0%	地域住民の主な購入地域（参考）	①朝陽・大豆島（69.9%） ②三輪・吉田・古牧（41.0%）	①三輪・吉田・古牧（50.6%） ②第一～第五（39.8%）
織物・衣服・身の回り品小売業	9	5.0%	3.2%			
飲食料品小売業	36	19.9%	5.6%			
機械器具小売業	47	26.0%	11.6%			
その他の小売業	71	39.2%	7.6%			
無店舗小売業	18	9.9%	13.5%			
計	181	100.0%	7.6%			

◆今回の計画での整理

商業立地の主な現況等（H20改定時から修正）	商業振興の方向性（案）
・「長野電鉄柳原駅」及び「長野電鉄朝陽駅」を中心に、個人商店を中心とした店舗が見られます。 ・「長野運動公園」以西には、生鮮食料品店、ホームセンター、衣料品販売店のほか、ドラッグストア、飲食店等が見られます。 ・「国道18号」沿いには、自動車販売店、飲食店等が見られます。 ・「長野須坂インター線」（南長池交差点以東）沿いには店舗の立地が見られ、「須坂長野東インターチェンジ」付近には、飲食店等の立地が見られる一方で、沿道から離れると農用地が広がっています。 ・「県道三才・大豆島・中御所線」沿いには、落合橋入口交差点周辺から訓練校前交差点周辺にかけて、飲食及びアミューズメント、生鮮食料品店、ドラッグストア等を中心とした店舗の集積が見られます。 ・「千曲川」沿いを中心に、農用地として、広く農業に利用されています。 ・地域の人口は減少傾向にあり、高齢化も進行していることから、日常生活を支える商業機能の維持・確保が課題です。	◎幹線道路等における既存の店舗を中心とした交通渋滞・騒音等に配慮した集積の促進（大規模小売店舗立地法等） ◎地域の個店を中心とした商業機能強化の促進 ◎地域住民の生活を支える商業機能の維持・確保

⑦川中島・更北地域（更北・川中島地区）

◆位置等

長野市の南部に位置し、千曲川と犀川に囲まれた沖積平野の肥沃な土地に市街地と農地が広がっています。

◆商業環境形成指針の地域商業のビジョン（H20改定時）

地区	地域商業のビジョン
更北 川中島	◎地域の景観への配慮（商業施設の外観、広告建造物、ネオンサインなどへの配慮、緑豊かな沿道環境の整備）の促進 ◎交通渋滞、騒音、廃棄物処理等、住宅地に配慮した大型商業集積の促進

◆地域の商業データ（小売業）

項目	H19	H24	H26	H28	R3
事業所数	464	361	355	388	363
↳（全地域平均）	(356)	(256)	(254)	(266)	(241)
年間商品販売額（万円）	8,950,379	8,102,981	9,006,682	9,451,308	8,320,838
↳（全地域平均）	(4,936,280)	(3,719,528)	(4,938,327)	(5,116,600)	(4,943,946)
行政人口（人）	58,318	60,936	61,259	61,645	61,307
↳（全地域平均）	(39,048)	(38,688)	(38,464)	(38,225)	(37,200)
小売吸引力係数（商業人口／行政人口）	1.41	1.55	1.44	1.44	1.29
↳（全地域平均）	(1.08)	(1.04)	(1.13)	(1.14)	(1.09)
商業人口（販売額／県民一人の販売額）（人）	82,287	94,157	88,361	88,903	79,137
↳（全地域平均）	(45,383)	(43,221)	(48,448)	(48,129)	(47,020)

R3 事業所の内訳	事業所数	構成比	市全体シェア
各種商品小売業	2	0.5%	33.3%
織物・衣服・身の回り品小売業	29	8.0%	10.2%
飲食料品小売業	77	21.2%	12.0%
機械器具小売業	86	23.7%	21.3%
その他の小売業	148	40.8%	15.8%
無店舗小売業	21	5.8%	15.8%
計	363	100.0%	15.1%

購入品目	飲食料品・日用品（最寄品）	衣料品・家電・家具（買回品）
地域住民の主な購入地域（参考）	①更北・川中島（100.0%） ②篠ノ井（34.1%）	①更北・川中島（97.7%） ②ネットで購入（40.9%）

◆今回の計画での整理

商業立地の主な現況等（H20改定時から修正）	商業振興の方向性（案）
・「県道長野・上田線」沿いには、「青木島ショッピングパーク」、「西友川中島店」のほか、生鮮食料品店、ホームセンター、衣料品販売店、家具販売店等の最寄品・買回品を扱う店舗や、アミューズメントや飲食店等の集積が見られます。 ・「JR川中島駅」の駅前通りには、小規模な店舗が見られます。 ・「長野南バイパス（国道19号）」沿いを中心に、大型の駐車場を備えた生鮮食料品店、家電量販店、家具販売店、ドラッグストア等の最寄品・買回品を扱う店舗や飲食店等の集積が見られます。	◎幹線道路等における既存の店舗を中心とした交通渋滞・騒音等に配慮した集積の促進（大規模小売店舗立地法等） ◎地域の個店を中心とした商業機能強化の促進

⑧篠ノ井地域（篠ノ井地区）

◆位置等

長野市の南部に位置し、市域の南の玄関口を形成しています。

◆商業環境形成指針の地域商業のビジョン（H20改定時）

地区	地域商業のビジョン
篠ノ井	◎「JR篠ノ井駅」周辺の中心市街地としての整備の促進 ◎農業及び地域環境・景観と商業との調和

◆地域の商業データ（小売業）

項目	H19	H24	H26	H28	R3
事業所数	251	191	182	191	191
└（全地域平均）	(356)	(256)	(254)	(266)	(241)
年間商品販売額（万円）	3,295,898	2,852,612	3,438,532	3,092,829	4,535,147
└（全地域平均）	(4,936,280)	(3,719,528)	(4,938,327)	(5,116,600)	(4,943,946)
行政人口（人）	41,609	41,642	42,209	42,323	41,159
└（全地域平均）	(39,048)	(38,688)	(38,464)	(38,225)	(37,200)
小売吸引力係数（商業人口／行政人口）	0.73	0.80	0.80	0.69	1.05
└（全地域平均）	(1.08)	(1.04)	(1.13)	(1.14)	(1.09)
商業人口（販売額／県民一人の販売額）（人）	30,301	33,148	33,734	29,092	43,132
└（全地域平均）	(45,383)	(43,221)	(48,448)	(48,129)	(47,020)

R3 事業所の内訳	事業所数	構成比	市全体シェア	購入品目	飲食料品・日用品（最寄品）	衣料品・家電・家具（買回品）
各種商品小売業	0	0.0%	0.0%	地域住民の主な購入地域（参考）	①篠ノ井（100.0%） ②更北・川中島（59.5%）	①篠ノ井（86.5%） ②更北・川中島（73.0%）
織物・衣服・身の回り品小売業	15	7.9%	5.3%			
飲食料品小売業	56	29.3%	8.8%			
機械器具小売業	30	15.7%	7.4%			
その他の小売業	82	42.9%	8.7%			
無店舗小売業	8	4.2%	6.0%			
計	191	100.0%	7.9%			

◆今回の計画での整理

商業立地の主な現況等（H20改定時から修正）	商業振興の方向性（案）
・「JR篠ノ井駅」前から「県道松代・篠ノ井線」にかけての沿線には、古くからの専門店、飲食店を中心とした商店街のほか、生鮮食料品店、ドラッグストア、衣料品販売店等が集積し、一体の駐車場を備えた商業集積地等が見られます。 ・「県道戸隠・篠ノ井線」から「南長野運動公園」にかけての沿線には、ホームセンター、自動車販売店、飲食店のほか、小売店等が見られます。 ・瀬原田の土地区画整理地には、生鮮食料品店、ドラッグストア等が集積し、一体の駐車場を備えた商業集積地が見られます。 ・「南長野運動公園」から水沢上庭の土地区画整理地周辺において、大型の駐車場を備えた生鮮食料品店、家電量販店、ホームセンター、衣料品販売店等の最寄品・買回品を扱う店舗の集積が見られます。 ・「JR篠ノ井駅」は「JR長野駅」に次いで乗降客が多く、「南長野運動公園」一帯はプロスポーツの試合や各種イベントの開催など市民・交流人口の利用が見込まれる地域であるため、市の南部の中心地域として、周辺地域との連携の強化など、商工業を含めた複合型の新たな産業拠点の形成が課題です。	◎幹線道路等における既存の店舗を中心とした交通渋滞・騒音等に配慮した集積の促進（大規模小売店舗立地法等） ◎地域に密着した商店街の生活機能強化の促進 ◎地域の個店を中心とした商業機能強化の促進 ◎「南長野運動公園」を活かしたスポーツ・観光・商工業・農業等の複合型産業拠点の形成

⑨松代・若穂地域（松代・若穂地区）

◆位置等

長野市の南東部に位置し、北西側は千曲川沿いの平坦地、南東側は皆神山や菅平高原の裾野を含む山地や中山間地と多様な地形を有しています。

◆商業環境形成指針の地域商業のビジョン（H20改定時）

地区	地域商業のビジョン
松代	◎地域資源を最大限に生かし、観光と一体となった商業環境形成の促進 ◎歴史的景観・街並みに配慮した商業環境の形成
若穂	◎地域に密着した商店の機能強化の促進 ◎「須坂長野東インターチェンジ」周辺の秩序ある開発の促進

◆地域の商業データ（小売業）

項目	H19	H24	H26	H28	R3
事業所数	240	193	174	178	147
↳（全地域平均）	(356)	(256)	(254)	(266)	(241)
年間商品販売額（万円）	1,874,202	1,536,799	1,701,946	1,557,788	1,419,317
↳（全地域平均）	(4,936,280)	(3,719,528)	(4,938,327)	(5,116,600)	(4,943,946)
行政人口（人）	32,595	31,591	30,906	30,321	28,638
↳（全地域平均）	(39,048)	(38,688)	(38,464)	(38,225)	(37,200)
小売吸引力係数（商業人口／行政人口）	0.53	0.57	0.54	0.48	0.47
↳（全地域平均）	(1.08)	(1.04)	(1.13)	(1.14)	(1.09)
商業人口（販売額／県民一人の販売額）（人）	17,231	17,858	16,697	14,653	13,499
↳（全地域平均）	(45,383)	(43,221)	(48,448)	(48,129)	(47,020)

R3 事業所の内訳	事業所数	構成比	市全体シェア	購入品目	飲食料品・日用品（最寄品）	衣料品・家電・家具（買回品）
各種商品小売業	0	0.0%	0.0%	地域住民の主な購入地域（参考）	①松代・若穂（81.0%） ②篠ノ井（34.5%）	①更北・川中島（51.7%） ②篠ノ井（46.6%）
織物・衣服・身の回り品小売業	9	6.1%	3.2%			
飲食料品小売業	47	32.0%	7.3%			
機械器具小売業	28	19.1%	6.9%			
その他の小売業	59	40.1%	6.3%			
無店舗小売業	4	2.7%	3.0%			
計	147	100.0%	6.1%			

◆今回の計画での整理

商業立地の主な現況等（H20改定時から修正）	商業振興の方向性（案）
・「旧松代駅」から「長野市松代支所」方面にかけて、専門店を中心とした商店街が形成されており、小規模な商店が立地しています。 ・松代地区の「真田邸」「松代城址」など歴史的・文化的な資源が多く、観光を核としたまちづくりがなされており、観光地型の商店（土産物店）等が見られます。 ・「長野インターチェンジ」周辺には、ホテルのほか、生鮮食料品店、ドラッグストア等が集積し、一体の駐車場を備えた商業集積地が見られます。 ・「須坂長野東インターチェンジ」周辺から「須坂長野インター線」「国道403号」沿いを中心に、広い駐車場を備えた「イオンモール須坂」等の大型店舗や、飲食店等が見られます。 ・「旧綿内駅」「旧信濃川田駅」周辺及び「国道403号」沿いには、地域に密着した小規模な飲食店、小売店等が見られます。 ・山間部など地域内には農用地が多く、広く農業に利用されています。 ・地域の人口は減少傾向にあり、高齢化も進行していることから、日常生活を支える商業機能の維持・確保が課題です。	◎地域資源を生かし、観光と一体となった商業環境形成の促進 ◎地域に密着した商店街の生活機能強化の促進 ◎地域の個店を中心とした商業機能強化の促進 ◎「須坂長野東インターチェンジ」周辺の秩序ある開発の促進 ◎地域住民の生活を支える商業機能の維持・確保

⑩北西部中山間地域（小田切・芋井・七二会・信更・戸隠・鬼無里・大岡・信州新町・中条地区）

◆位置等

長野市の西～北西部一帯に広がり、山岳地帯から中山間地まで、起伏に富んだ多様な地形を有しています。

◆商業環境形成指針の地域商業のビジョン（H20改定時）

地区	地域商業のビジョン
芋井 小田切 七二会	◎地域に密着した商店街の生活機能強化の促進 ◎積極的な自然環境保全の促進
信更	◎地域に密着した商店街の生活機能強化の促進 ◎積極的な自然環境保全の促進
戸隠	◎そば、山菜、竹細工等の特産物、スキー場等の地域資源及び自然を最大限に生かし、リゾート・観光が一体となった商業環境形成の促進 ◎水資源や森林資源等自然環境の積極的な保全の促進
鬼無里	◎地域に密着した商店街の生活機能の強化 ◎水資源や森林資源等自然環境の積極的な保全の促進 ◎自然を最大限に生かし、観光と農林業が一体となった商業環境形成の促進
大岡	◎地域資源を最大限に生かし、観光と農林業が一体となった商業環境形成の促進 ◎農業体験などを織り込んだ新たな商業・サービスの展開

（※信州新町・中条地区は、H20改定時は長野市との合併前のため記載なし）

◆地域の商業データ（小売業）

項目	H19	H24	H26	H28	R3
事業所数	187	149	154	158	119
↳（全地域平均）	(356)	(256)	(254)	(266)	(241)
年間商品販売額（万円）	X	470,261	X	X	X
↳（全地域平均）	(4,936,280)	(3,719,528)	(4,938,327)	(5,116,600)	(4,943,946)
行政人口（人）	24,474	21,865	20,614	19,364	16,597
↳（全地域平均）	(39,048)	(38,688)	(38,464)	(38,225)	(37,200)
小売吸引力係数（商業人口／行政人口）	X	0.25	X	X	X
↳（全地域平均）	(1.08)	(1.04)	(1.13)	(1.14)	(1.09)
商業人口（販売額／県民一人の販売額）（人）	X	5,464	X	X	X
↳（全地域平均）	(45,383)	(43,221)	(48,448)	(48,129)	(47,020)

R3 事業所の内訳	事業所数	構成比	市全体シェア
各種商品小売業	0	0.0%	0.0
織物・衣服・身の回り品小売業	8	6.7%	2.8
飲食料品小売業	42	35.3%	6.6
機械器具小売業	11	9.3%	2.7
その他の小売業	57	47.9%	6.1
無店舗小売業	1	0.8%	0.8
計	119	100.0%	4.9

購入品目	飲食料品・日用品（最寄品）	衣料品・家電・家具（買回品）
地域住民の主な購入地域（参考）	①更北・川中島（35.5%） ②第一～第五（31.6%）	①更北・川中島（49.0%） ②第一～第五（38.8%）

◆今回の計画での整理

商業立地の主な現況等（H20改定時から修正）	商業振興の方向性（案）
・小田切地区、芋井地区、七二会地区、信更地区、鬼無里地区、大岡地区及び中条地区は、地域内に小規模な商店等が点在しており、商業の集積はほとんど見られません。 ・戸隠地区は、「戸隠神社」周辺や主要観光動線沿いを中心に、戸隠そば等の飲食店、土産品店、宿泊関連サービスが見られ、観光と密接に結びついた商業環境となっています。 ・信州新町地区は、「国道19号」沿いに、生鮮食料品店、ホームセンター、ドラッグストアのほか、小規模な飲食店等が見られます。 ・「鬼無里ふるさと体験施設」、「道の駅長野市大岡特産セン	◎地域の個店を中心とした商業機能強化の促進 ◎地域資源を活かした商業環境の形成の促進 ◎地域住民の生活を支える商業機能の維持・確保

ター」、「道の駅信州新町」及び「道の駅中条」は、地元農産物、加工品、土産品等の販売拠点であるとともに、観光案内や飲食機能を備えた地域商業・交流の拠点となっています。 ・地域内には、農用地が多く、土地利用の中心は農業です。 ・地域の人口は減少傾向にあり、高齢化も進行していることから、日常生活を支える商業機能の維持・確保が課題です。	
---	--